拡張および接続機能の設定

- 拡張および接続機能の設定のワークフロー （1 ページ）
- ユーザ モビリティの有効化 （1 ページ）
- CTI リモート デバイスの作成 （2 ページ）
- リモート接続先の追加 （3 ページ）

拡張および接続機能の設定のワークフロー

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	ユーザ モビリティの有効化 （1 ページ）	ユーザのモビリティを有効にし、ユーザを CTI リモート デバイスの所有者として割り当てることができます。
ステップ 2	CTI リモート デバイスの作成 （2 ページ）	CTI リモート デバイス、仮想デバイス モニタを作成し、ユーザのリモート接続先の通話を制御します。
ステップ 3	リモート接続先の追加 （3 ページ）	（オプション）専用 CTI リモート デバイスをユーザにプロビジョニングする場合は、Cisco Unified Communications Manager にリモート接続先を追加します。

ユーザ モビリティの有効化

この作業は、デスクトップ クライアント専用です。

CTI リモート デバイスをプロビジョニングするには、ユーザ モビリティを有効にする必要があります。ユーザのモビリティが有効でない場合、そのユーザを CTI リモート デバイスの所有者として割り当てることはできません。

始める前に

この作業は、次の場合にのみ該当します。

- CTI リモート デバイスに Cisco Jabber for Mac または Cisco Jabber for Windows のユーザを割り当てる予定である。
- Cisco Unified Communications Manager リリース 9.x 以降である。

手順

ステップ 1 **[ユーザ管理（User Management）] > [エンド ユーザ（End User）]** を選択します。

[ユーザの検索と一覧表示（Find and List Users）] ウィンドウが開きます。

ステップ 2 [ユーザを次の条件で検索（Find Users where）] フィールドで適切なフィルタを指定した後、[検索（Find）] を選択してユーザのリストを取得します。

ステップ 3 ユーザを一覧から選択します。

[エンド ユーザの設定（End User Configuration）] ウィンドウが表示されます。

ステップ 4 [モビリティ情報（Mobility Information）] セクションを探します。

ステップ 5 **[モビリティの有効化(Enable Mobility)]** を選択します。

ステップ 6 [保存（Save）] を選択します。

CTI リモート デバイスの作成

CTI リモートデバイスは、ユーザのリモート接続先をモニタリングし、通話を制御する仮想デバイスです。

手順

ステップ 1 [Cisco Unified CM の管理（Cisco Unified CM Administration）] インターフェイスを開きます。

ステップ 2 **[デバイス（Device）] > [電話（Phone）]** の順に選択します。

[電話の検索と一覧表示（Find and List Phones）] ウィンドウが開きます。

ステップ 3 [新規追加（Add New）] を選択します。

ステップ 4 [電話のタイプ（Phone Type）] ドロップダウン リストから[CTI リモート デバイス（CTI Remote Device）] を選択します。続いて [次へ（Next）] を選択します。

[電話の設定（Phone Configuration）] ウィンドウが開きます。

ステップ 5 [オーナーのユーザ ID（Owner User ID）] ドロップダウン リストから対象のユーザ ID を選択します。

（注） [オーナーのユーザ ID（Owner User ID）] ドロップダウン リストには、モビリティの有効化が利用可能なユーザのみが表示されます。詳細については、「クライアントでの *SAML SSO* の有効化」を参照してください。

Cisco Unified Communications Manager は [デバイス名（Device Name）] フィールドをユーザ ID と [CTIRD] 接頭辞から生成します。例としては、[CTRID ユーザ名（CTIRDusername）] となります。

ステップ 6 必要に応じて、[デバイス名（Device Name）] フィールドのデフォルト値を編集します。

ステップ 7 [プロトコル固有情報（Protocol Specific Information）] セクションの [再ルーティング コーリング サーチ スペース（Rerouting Calling Search Space）] ドロップダウン リストから、適切なオプションを選択してください。

[再ルーティング コーリング サーチ スペース（Rerouting Calling Search Space）] ドロップダウン リストは、再ルーティングのコーリング サーチ スペースを定義します。これにより、ユーザは CTI リモート デバイスからコールを発信および受信できるようになります。

ステップ 8 必要に応じて、[電話の設定（Phone Configuration）] ウィンドウのその他の設定も指定します。

詳細については、『System Configuration Guide for Cisco Unified Communications Manager』の「*CTI remote device setup*」のトピックを参照してください。

ステップ 9 [保存（Save）] を選択します。

電話番号を関連付け、リモート接続先を追加するには、[電話の設定（Phone Configuration）] ウィンドウのフィールドから設定します。

リモート接続先の追加

リモート接続先とは、ユーザが利用できる CTI 制御可能デバイスです。

ユーザに専用 CTI リモート デバイスをプロビジョニングする場合、**Cisco Unified CM Administration** インターフェイスを使用してリモート接続先を追加する必要があります。このタスクにより、クライアントの起動時に、ユーザは自動的に電話を制御し、コールを発信できます。

ユーザにソフトフォン デバイスおよびデスクフォン デバイスとともに CTI リモート デバイスをプロビジョニングする場合、[Cisco Unified CM の管理（Cisco Unified CM Administration）] インターフェイスを使用してリモート接続先を追加しないでください。ユーザは、クライアント インターフェイスを使用してリモート接続先を入力できます。

（注）
- ユーザ 1 人につき 1 つのリモート接続先を作成する必要があります。ユーザに対して複数のリモート接続先を追加しないでください。
- Cisco Unified Communications Manager は、**Cisco Unified CM Administration** インターフェイスで追加したリモート接続先がルーティング可能かどうかを確認しません。そのため、追加するリモート接続先を Cisco Unified Communications Manager がルーティングできることを確認する必要があります。
- Cisco Unified Communications Manager は、自動的に CTI リモート デバイスのすべてのリモート接続先番号にアプリケーション ダイヤル ルールを適用します。

手順

ステップ 1 [Cisco Unified CM の管理（Cisco Unified CM Administration）] インターフェイスを開きます。

ステップ 2 **[デバイス（Device）] > [電話（Phone）]** の順に選択します。

[電話の検索と一覧表示（Find and List Phones）] ウィンドウが開きます。

ステップ 3 [電話を次の条件で検索（Find Phone where）] フィールドに適切なフィルタを指定し、[検索（Find）] を選択して電話の一覧を取得します。

ステップ 4 一覧から CTI リモート デバイスを選択します。

[電話の設定（Phone Configuration）] ウィンドウが開きます。

ステップ 5 [関連付けられたリモート接続先（Associated Remote Destinations）] セクションを探します。

ステップ 6 [新規リモート接続先の追加（Add a New Remote Destination）] を選択します。

[リモート接続先情報（Remote Destination Information）] ウィンドウが開きます。

ステップ 7 JabberRD を [名前（Name）] フィールドに指定します。

制約事項 [名前（Name）] フィールドに JabberRD を指定する必要があります。クライアントは JabberRD リモート接続先のみ使用します。JabberRD 以外の名前を指定した場合、ユーザはそのリモート接続先にアクセスできません。

ユーザがクライアントインターフェイスを使用してリモート接続先を追加すると、クライアントは JabberRD 名を自動的に設定します。

ステップ 8 [接続先番号（Destination Number）] フィールドに接続先番号を入力します。

ステップ 9 必要に応じて他の値をすべて指定します。

ステップ 10 [保存（Save）] を選択します。

次のタスク

次の手順を実行してリモート接続先を確認し、CTI リモート デバイスに設定を適用します。

1. 手順を繰り返し、CTI リモート デバイスの [電話の設定（Phone Configuration）] ウィンドウを開きます。
2. [関連付けられたリモート接続先（Associated Remote Destinations）]セクションを探します。
3. リモート接続先が利用可能であることを確認します。
4. [設定の適用（Apply Config）] を選択します。

（注） [電話の設定（Phone Configuration）] ウィンドウの [デバイス情報（Device Information）] セクションには、[アクティブなリモート接続先（Active Remote Destination）] フィールドが含まれています。

ユーザがクライアントでリモート接続先を選択すると、そのリモート接続先は [アクティブなリモート接続先（Active Remote Destination）] の値として表示されます。

次の場合、[アクティブなリモート接続先（Active Remote Destination）] の値として [none] が表示されます。

- ユーザがクライアントでリモート接続先を選択しない場合。
- ユーザが退出した場合、またはクライアントにサインインしていない場合。